

研究の概要

神経難病の患者は全面的な生活介助が必要であり、ベッド上で臥床している患者が多い。そのため、褥瘡発生リスクが高く、褥瘡予防や悪化防止が必要である。そこで体圧測定器を用いて、褥瘡好発部位の体圧を測り適切なポジショニングを検討することで、褥瘡発生リスクを減らすことに繋がると考えられる。体圧データを集め、今後の褥瘡ケアに活かしていく。

研究期間

承認日より2023年2月10日まで

研究機関の名称及び研究機関の長

独立行政法人国立病院機構山形病院
院長 川並 透

研究責任者の氏名

看護部4病棟
看護師 早坂 佳

オプトアウト

特記なし